「衛星リモートセンシングシンポジウム 2025」

日本写真測量学会　対外協力委員会
日本リモートセンシング学会　実利用委員会

シンポジウム概要　＜日本測量協会主催「測量・地理空間情報イノベーション大会 2025」内で実施＞

主催：　日本写真測量学会、日本リモートセンシング学会
共催：　地理情報システム学会

【対面開催】　日時：2025 年 6 月 18 日（水）13:30～15:50
場所：東京大学伊藤国際学術研究センター　ギャラリー1（定員 70～80 名）
（東京都文京区本郷 7-3-1） https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/iirc/ja/access.html

【オンデマンド配信】　日時：　2025 年 7 月 8 日(火) 10:00　～　8 月 5 日(火)
（測量・地理空間情報イノベーション大会　WEB サイト内にて）

【参加申込方法】　参加費無料・事前申込制
測量・地理空間情報イノベーション大会　WEB サイト　参加申込ページから　https://innovation2025.jsurvey.jp/
申込期間　・対面開催：5 月 13 日(火)　～　6 月 3 日(火)
※「6/18 午後　東京会場　ギャラリー1【講演⑧】衛星リモートセンシングシンポジウム 2025」を選択
・オンデマンド配信：5 月 13 日(火)　～　8 月 5 日(火)

シンポジウム名称及び趣旨　　**「衛星データ利用の最新動向」**

【趣旨】
近年、光学衛星・SAR 衛星ともに新たなコンステレーション計画が相次いで発表され、製造と打ち上げが順調に進んできた。さらに、超解像技術が進展し、衛星データの高解像度化と多頻度化が進展している。
このような流れを受け、従来の衛星リモートセンシングでは実現できなかった新たな利活用の兆しが芽生えつつある。
そこで本シンポジウムでは、「衛星データ利用の最新動向」をテーマに、従来の衛星リモートセンシングでは実現できなかった新たな衛星データ利用に関する理解を深め、将来を展望する機会としたい。
特に、今回のシンポジウムは、これまでの G 空間 Expo から測量・地理空間情報イノベーション大会に場を移して初めてのシンポジウムであり、2019 年以来 6 年ぶりの対面開催となるため、測量・地理空間情報業界に馴染みの深い分野の事例で構成した。

【プログラム】

テーマ	講演者	所属
開会のご挨拶	赤松　幸生　様	（一社）日本写真測量学会　副会長 （5 分）
AW3D 衛星 3D 地図・都市モデルと次世代衛星システムへの展開	筒井　健　様	（株）Marble Visions （30 分）
災害対応における衛星リモートセンシングの社会実装に向けて ～日本版災害チャータの取り組みと「その先」へ～	田口　仁　様	国立研究開発法人防災科学技術研究所 （30 分）
衛星写真を活用した固定資産税実地調査における課題と今後の展望	原　勉　様 髙橋　三千年　様	仙北市総務部固定資産税調査室 （30 分）
高分解能衛星画像を用いた都市計画基本図の更新	佐久間　庸次　様	山陽小野田市建設部都市計画課 （30 分）
質疑応答、総合討論		（15 分）

計．140 分